

ひふみのあゆみ



ひふみらいと 追加型投信/内外/資産複合

2021年5月度 月次ご報告書

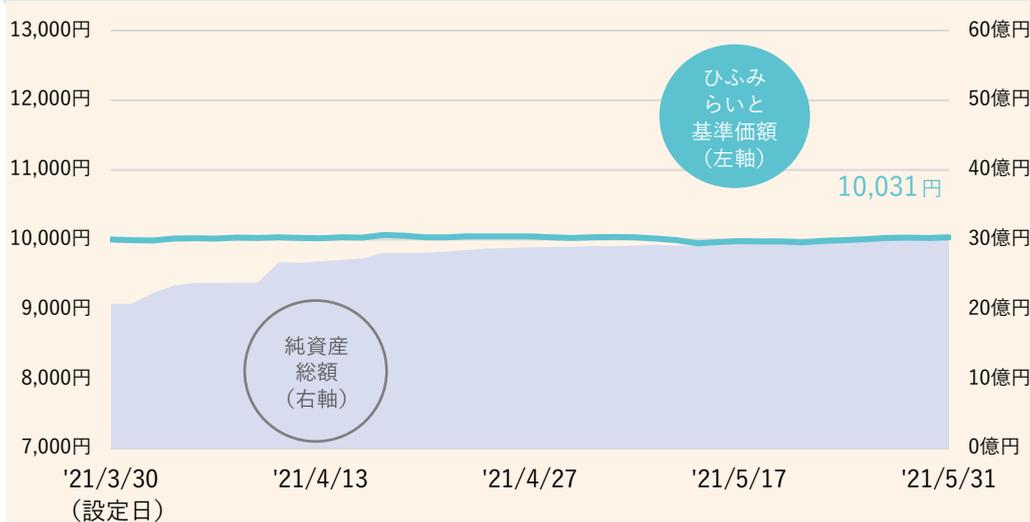
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみらいと」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2021年5月31日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「ひふみらいと」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」90%、「ひふみ投信マザーファンド」5%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」5%を維持することを目指して運用を行なっています。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用実績」をご覧ください。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみらいと	0.10%	-	-	-	-	0.31%

ひふみらいとの運用状況

基準価額	10,031円
純資産総額	30.31億円
受益権総口数	3,022,487,592口

ひふみらいと 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	89.60%
ひふみ投信マザーファンド	4.81%
ひふみワールドファンド*	5.12%
現金等	0.46%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計	0円	

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+10円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	+17円
ひふみ投信マザーファンド	-7円
ひふみワールドファンド*	+4円
信託報酬・その他	-4円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	+17円
株式・投資証券	-7円
為替	+4円
信託報酬・その他	-4円

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	209.16億円
組み入れ銘柄数	11銘柄

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	0.64%
デュレーション	7.3

種別比率	
国債	55.25%
住宅ローン担保証券	6.52%
社債	1.02%
国際機関債	0.99%
現金等	36.22%
合計	100.00%

格付比率	
AAA	27.16%
AA	1.02%
A	26.92%
BBB	8.68%
BB以下	0.00%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 米ドル	28.18%
2 日本円	26.92%
3 ユーロ	8.68%
4 -	-
5 -	-

組み入れ上位5カ国 比率	
1 アメリカ	27.19%
2 日本	26.92%
3 イタリア	8.68%
4 国際機関	0.99%
5 -	-

為替ヘッジ比率
99.76%

組み入れ上位5銘柄 比率					
銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率
1 第362回利付国債（10年）	国債	日本	日本円	2031/3/20	16.77%
2 US TREASURY N/B	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	10.47%
3 第175回利付国債（20年）	国債	日本	日本円	2040/12/20	10.15%
4 ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO	国債	イタリア	ユーロ	2031/8/1	8.68%
5 US TREASURY N/B	国債	アメリカ	米ドル	2031/2/15	6.54%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいくほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※格付は、ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズ、フィッチの格付のうち最も高いものを採用し、スタンダード・アンド・プアーズの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「為替ヘッジ比率」は、外貨建資産の時価総額に対する為替予約評価額の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	6,798.07億円
組み入れ銘柄数	281銘柄
資産配分比率	
国内株式	83.72%
海外株式	12.50%
海外投資証券	1.03%
現金等	2.75%
合計	100.00%

市場別比率

東証一部	76.80%
東証二部	1.73%
マザーズ	3.59%
JASDAQ	1.61%
その他海外株	13.53%
現金等	2.75%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率

1 情報・通信業	16.52%
2 サービス業	10.46%
3 電気機器	9.54%
4 卸売業	6.75%
5 小売業	6.02%
6 機械	5.90%
7 化学	5.86%
8 建設業	5.42%
9 精密機器	3.23%
10 食料品	3.23%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上,3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.61%
2	エイチ・アイ・エス	9603	中小型	東証一部	サービス業	1.42%
3	SHIFT	3697	中小型	東証一部	情報・通信業	1.35%
4	HOYA	7741	大型	東証一部	精密機器	1.33%
5	ミライト・ホールディングス	1417	中小型	東証一部	建設業	1.30%
6	ショーボンドホールディングス	1414	中小型	東証一部	建設業	1.24%
7	あい ホールディングス	3076	中小型	東証一部	卸売業	1.19%
8	川崎重工業	7012	大型	東証一部	輸送用機器	1.19%
9	東京応化工業	4186	大型	東証一部	化学	1.13%
10	光通信	9435	大型	東証一部	情報・通信業	1.11%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	220.79億円	投資信託財産の構成
		ひふみワールドマザーファンド 99.71%
		現金等 0.29%
		合計 100.00%

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

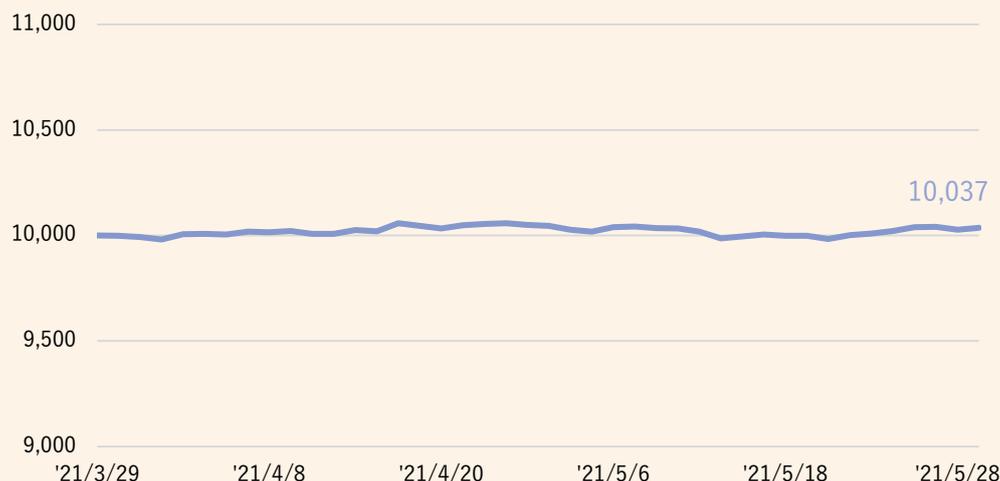
ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	組み入れ上位10カ国 比率
純資産総額 1,984.11億円	1 アメリカ 59.16%
組み入れ銘柄数 149銘柄	2 中国 9.13%
	3 ドイツ 4.55%
	4 フランス 3.49%
	5 香港 2.14%
	6 イギリス 1.89%
	7 スウェーデン 1.71%
	8 カナダ 1.64%
	9 台湾 1.32%
	10 アイルランド 1.26%

資産配分比率	組み入れ上位10業種 比率	組み入れ上位10通貨 比率
海外株式 89.99%	1 資本財 12.28%	1 米ドル 65.92%
海外投資証券 1.41%	2 ソフトウェア・サービス 12.07%	2 ユーロ 8.70%
現金等 8.60%	3 各種金融 10.07%	3 香港ドル 8.37%
合計 100.00%	4 半導体・半導体製造装置 8.36%	4 中国元 1.75%
	5 メディア・娯楽 6.32%	5 台湾ドル 1.32%
	6 小売 6.08%	6 イギリス・ポンド 1.24%
	7 ヘルスケア機器・サービス 4.91%	7 デンマーク・クローネ 1.19%
	8 耐久消費財・アパレル 4.11%	8 スウェーデン・クローナ 0.93%
	9 自動車・自動車部品 3.65%	9 オーストラリア・ドル 0.86%
	10 消費者サービス 3.48%	10 ノルウェー・クローネ 0.76%

組み入れ上位10銘柄 比率				
銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1 DEUTSCHE POST AG	ドイツ	ユーロ	運輸	1.60%
2 GENERAL MOTORS COMPANY	アメリカ	米ドル	自動車・自動車部品	1.35%
3 BROOKFIELD ASSET MANAGEMENT INC.	カナダ	米ドル	各種金融	1.33%
4 CAPITAL ONE FINANCIAL CORPORATION	アメリカ	米ドル	各種金融	1.29%
5 ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.26%
6 FIRST REPUBLIC BANK	アメリカ	米ドル	銀行	1.24%
7 AMERICAN EXPRESS COMPANY	アメリカ	米ドル	各種金融	1.22%
8 DISCOVER FINANCIAL SERVICES	アメリカ	米ドル	各種金融	1.19%
9 TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.13%
10 NVIDIA CORPORATION	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.13%

ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみグローバル債券マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
	0.19%	-	-	-	-	0.37%

ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみ投信マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
	-1.43%	-	-	-	-	-3.64%

ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみワールドマザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
	0.78%	-	-	-	-	6.21%

※「ひふみらいと」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「ひふみらいと」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「ひふみらいと設定来」は、「ひふみらいと」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「ひふみらいと」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

運用責任者よりお客様へ：ひふみらいと

当ファンドに組み入れている「ひふみグローバル債券マザーファンド」および「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」（以下「ひふみワールドファンド」）の上昇がプラス寄与し、前月末に比べて、基準価額は0.10%上昇しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

米国の消費者物価指数が市場予想を大きく上回る上昇となりインフレ懸念が強まるなか、日米のグロース株が軟調に推移したことなどから、基準価額は1.43%下落しました。なお、同期間における参考指標であるTOPIX（東証株価指数、配当込み）は1.38%上昇しています。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

米国の消費者物価指数が市場予想を大きく上回る上昇となりインフレ懸念が強まるなか、米国のグロース株が軟調に推移したものの、欧州株、中国株などの上昇を背景に、基準価額は0.79%（ひふみワールドマザーファンドは0.78%）上昇しました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

米国の消費者物価指数が市場予想を大きく上回る上昇となったものの、債券市場ではインフレは一時的であるとの見方が大勢となり、米国金利が一段と低下したことなどを背景に、基準価額は0.19%上昇しました。

引き続き各ファンドの基本資産配分比率を維持するように運用します。今後ともひふみらいとをよろしく願います。



ひふみらいと
ファンドマネージャー
岡田 泰輔

運用責任者よりお客様へ：ひふみグローバル債券マザーファンド

5月の米国10年金利はほぼ横ばいでした。物価指標に関しては、12日に発表された米CPIが予想比を大幅に上振れるなど全体に強い数字が目立ちましたが、中長期的なインフレの高まりを示唆するものではないとの評価が大勢でした。また、数人のFRB（連邦準備制度理事会）メンバーがテーパリング（資産買入の縮小）の議論開始を示唆しましたが、マーケットインパクトは極めて限定的でした。市場では、夏頃に議論開始のアナウンス、実際に買入れが縮小されるのは12~1月頃との見方が主流でそのシナリオに沿った形になっています。

また、欧州金利の上昇は一時加速した後に沈静化しました。警戒されていた6月ECB（欧州中央銀行）での債券買入れ縮小は時期尚早との見方が強まっています。

日本の金利は動意を失っており、今年3月に引き続き国債買入れ減額の予想が高まっておりますが、それでも金利上昇は限定的と思われるます。

ファンドでは引き続き、長めの米国債を多めに保有する一方で全体的なリスク量を抑えており、インフレ加速に対して耐性の強いポジションを心がけております。引き続き、ひふみらいとをよろしく願います。



ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

運用責任者よりお客様へ：ひふみ投信マザーファンド

5月は決算の月で、当社が投資をしている会社群は予想以上の決算を出すところが多く、かつ今期の予想数字についても昨年に比べると強気の会社が増えてきました。一方で、株式市場は昨年に景気の回復を相当程度織り込んだので、決算数字の上方修正に対してもそれほど反応せず、むしろ株価の割安感の強いバリュー銘柄優位の展開になっています。

米国は景気回復からインフレ懸念に関心が変化しており、株式市場の物色動向も変化しつつあります。日本は諸外国に比べてワクチンの接種率が出遅れており、今は65歳以上のシニア中心に接種が始まっています。しかし、日本のワクチンの接種率が上昇をしていけば、経済の立ち直りも見込めるので、これからは経済のリオープニングが市場のテーマになってくるものと思われまます。

当ファンドもHISなどのリオープニング関連銘柄を厚めに保有することで、そのような市場動向に対応していこうと考えております。バリューとグロースをバランスよく保有するコーヒーフロート戦略を続けつつ、後半期に成績を巻き返していこうと考えております。これからも全力を尽くして運用しますので、ひふみらいとをよろしく願いいたします。



ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

運用責任者よりお客様へ：ひふみワールドマザーファンド

4月の米国CPI（消費者物価指数）が急上昇したことなどからインフレ懸念が高まり、5月前半の市場は軟調な展開でした。欧州、中国市場を中心に後半持ち直した結果、ひふみワールドマザーファンドの基準価額は前月末比で上昇しました。

市場を牽引してきたグロース企業が割高感を理由に嫌気に押された一方、比較的割安に置かれた、いわゆるバリュー企業が堅調でした。テスラのイーロン・マスク氏が同社EV購入代金として暗号通貨（ビットコインなど）を利用する可能性を表明するも一転してこのサービスの中止を発表したこと、また中国金融当局も暗号資産関連サービスについてこれまでより厳しい措置を発表したことなどから暗号通貨が急落し、一部投資家の間で動揺が広がったことは、軟調な市場要因と考えられます。

欧州市場は経済再開が順調な滑り出しとなり、イタリアやフランスの株式市場を中心に上昇しました。一時軟調だった中国市場もインフレ懸念が後退したことから再び活発化しました。暗号通貨の下落や規制強化により、暗号通貨市場から株式市場に資金が向く可能性への期待も市場を支えたようです。

ひふみワールドマザーファンドは、市場物色の転換から調整局面となっている半導体や半導体製造装置、テクノロジー関連、欧米各国の経済再開進展から恩恵を受ける消費関連など、幅広く買い増しました。経済再拡大による金利先高感も継続的に高まりつつあることから、比較的割安な金融関連も合わせて増やしました。製造業だけではなく、金融、サービス産業などバランスよく組み入れ、一部のセクター、業種に偏らないポートフォリオ構築を常に目指しています。

引き続き皆様からお預かりした大切な資産を世界の成長企業等に投資し、よりよい未来を作る一助となるようなポートフォリオ構築を続けます。今後もひふみらいとをよろしく願いいたします。



ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー
湯浅 光裕



ワクチン接種・コロナ克服度合いで景況感格差

業績相場の米国株、出遅れ日本株も追走へ

主要国の経済活動や景況感は、新型コロナのワクチン接種率（＝ワクチン接種者数／人口）との相関が高くなっています。英国やカナダ、米国などでは5月末のワクチン接種率が50%を突破し、新規感染者数が沈静化に向かっています。EU（欧州連合）もワクチン接種率が40%に接近し、新規感染者数が大幅に減少しています。ワクチン接種が進み集団免疫獲得に近づいているこのような国々では活動制限の緩和が進み、経済再開・活発化の動きが強まり、消費者心理や企業マインドの改善が顕著になっています。一方で、ワクチン接種の遅延や、変異種拡大の脅威にさらされている国々では厳しい活動制限がとられ、景況感の低迷が続いています。

米国はバイデン政権のワクチン接種推進政策や大規模な財政政策などが寄与し、景況感の上ブレが際立っています。7月4日の独立記念日を目標に集団免疫獲得による「コロナからの独立」を勝ち取るとともに、復興計画（21世紀版ニューディール政策）を推進するスタンスです。また、いち早くコロナ抑制を果たした中国では高めの経済成長率をキープする政策がとられています（過剰債務問題や不動産バブル懸念などに警戒しながら引き締め気味の政策と、先端産業育成や産業構造の高度化、中小企業支援など、ブレーキとアクセルの両睨みの政策がとられています）。EUの景況感はワクチン接種率の上昇に伴い5月以降急回復しています。一方、日本はワクチン接種が欧米に比べて遅れ、景気低迷が続いてきましたが、夏場にワクチン接種が本格化し、景況感が好転に向かいそうです。

主要国の金融政策面では、経済正常化が進展する米国から大規模緩和政策の修正に動きそうです。FRB（連邦準備理事会）の金融政策の正常化は、①テーパリング（資産買入の減額）論議の正式開始、②テーパリング開始、③利上げの順番で進められると推察されます。米国経済の改善が進む中で、テーパリング論議の正式開始は早ければ6月15～16日のFOMC（連邦公開市場委員会）、あるいは集団免疫獲得が達成され、経済の正常化気運が高まる形で、8月のジャクソンホール経済シンポジウムや9月のFOMCあたりが有力候補になりそうです。それから3～6ヵ月前後（市場への周知徹底・混乱回避）の期間において、今年の年末頃～来年1Qあたりに実際のテーパリングが開始されるとみられます。ところで、2013年5～6月に当時のバーナンキFRB議長が市場の意表を突いてテーパリング論議の開始を表明したことで、リスク回避的な動きが強まり、債券・株式・ドルのトリプル安になりました（バーナンキ・ショック）。現在のパウエル議長は2013年のような混乱を避けるため、教訓を活かしながらマーケットとのコミュニケーションを十分に図るとみられます。

今後の主要国株式市場は、米国を先導役に経済活動の正常化と景気や企業収益の好転を支えに「EPS（1株当たり税引後利益）の拡大」が株価上昇の原動力になる業績相場が予想されます。一方でインフレ懸念の台頭と長期金利の上昇は波乱要因になりそうですが、足元にかけての米国などの物価上昇は一時的要因が大勢として市場の織り込みが進んでいます。総じて経済拡大による金利上昇（⇒PERの押下げ）よりもEPSの拡大が優る形で株価は上昇基調を辿るとみられます。出遅れていた日本株はワクチン接種の本格化でキャッチアップに転じそうです。リスク要因は①新型コロナの変異種拡大でコロナ禍継続、景況感や企業収益が低迷、②逆に景気や物価の過熱で早期引き締め観測が台頭、米長期金利が上昇するといった2つのケースが挙げられますが、業績相場が大勢と予想します。

(6月2日)

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

会社創立18年、当社の運用資産残高が1兆円を突破しました。それぞれの視点で感じることを教えてください。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

業界の大先輩のさわかみさんから、直販運用会社はいずれ豆腐屋のように単位をいっちょう、にちょうと数えるようになるんだと言われました。大先輩のさわかみさんよりは少しだけ早く「豆腐屋さん」になりましたが、私たちが今あるのも、さわかみさんらの先人の努力のおかげです。ひたむきに全力に運用をがんばっていきたいと思います。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
未来戦略部長

まだまだお客様の数や規模としては小さく、私たちが想像する未来への通過点です。もっと多くの、世界中のお客様のお役に立ちたいと思うと同時に、世の中がより良くなればと精進し続けます。これからも応援を賜ればと思っています。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

投資調査は不断であり、ひとつの通過点に過ぎないのですが、一方で日本経済からみればわたしたちの存在が一定の存在感を持ち始めつつあるとも思います。より多くのお客様にとって意義のある存在となれるように引き続き努めて参りたいと思います。



Yatsuo Hisashi
八尾 尚志
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

私に加わった時点のAUMは200億そこそこでしたので、AUM1兆円というのはそれから50倍にまで成長したことになります。まさに皆様の応援のお陰だと深く感謝しております。深くお礼を申し上げます。実は私にはお客様から掛けられた一言がものすごく励みになっています。「僕の夢を乗せたんよ、頼んだよ、期待してるよ」そう聞いてお客様に握手を求められた時に感動したことを今も鮮明に覚えています。あの一言があったからこそ、ここまで来ることが出来たのだと本当に思います。あの時の気持ちをこれからも忘れることなく、またここが新たなスタート地点でもありますので、これまで以上に精進して参ります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします！！！！



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

AUM1兆円達成については、お客様に感謝しかありません。一方で運用面は皆様からより一層のものを求められていることと受け止めています。額で誇るよりも、パフォーマンスで誇る運用会社になろうと日々考えています。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

お客様が応援してくださったおかげで、奇跡のように18年で1兆円を突破したことに、本当に感謝・感激の気持ちでいっぱいです。レオスチームに加わってから3年以上過ぎましたが、この3年間の中でもいろんなイノベーションや変化が生まれ、ノウハウの蓄積やアイデアの進化が着実に進んでいると実感しております。これからもこのチームにとっても自信がありますし、引き続き努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

運用メンバーからのメッセージ



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

1兆円はもちろんひふみ、そしてそれを作る弊社のメンバーを信じて託していただいているお客様あってこそその数字です。これまでのお客様に今後も信じて託し続けていただくのみならず、新たなお客様にも信じて託していただけるよう、地味で地道な努力を続けてまいりたいと思います。



Ono Shotaro
小野 頌太郎
シニア・アナリスト

1兆円を突破する過程で、沢山のお客様にお会いできたこと、またお客様から多くを学ばせていただいたこと、とても感謝しております。運用を通じてお客様の資産形成に貢献し、“びっくり”をお届けできるよう引き続き頑張っまいります。



Katata Yuta
堅田 雄太
シニア・アナリスト

多くのお客様にひふみを信じて託していただいた結果としての運用資産残高1兆円突破に、身が引き締まる思いです。お客様からお預かりした資金を、より多くの成長企業に投資することにより、お客様の資産形成に貢献するとともに、明るい未来を創っていきたく思います。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
シニア・アナリスト

一つの節目を経験でき感謝申し上げます。今後もレオスが提供する投資商品を通じ、投資理念を皆様と共有させていただきつつ、投資先企業が生み出す果実を、運用パフォーマンスといった形で皆様と分かち合いながら、ファンドを長期にわたり育てていきたいです。引き続きよろしくお願い致します。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト

今年入社して早々、様々なイベントや寄せられるお客様の声を通じて、多くのお客様に支えられた会社、ファンドだと感じる場面が多かったですが、このような形で数字で現れて、さらに実感いたします。1兆円が特別な区切りだとは思いませんので、引き続きお預かりした資産を育て、またお客様と楽しくコミュニケーションができればと存じます。今後ともよろしくお願い致します。



Tada Kensuke
多田 憲介
アナリスト

新参者の私の役割はこれから10兆、100兆と成長していけるよう、全力を尽くすことです。一方で、数字としての成長は目の前のできることを必死に積み重ねていった結果として実現できるものと思います。楽しみながら調査に全うし、皆様に少しでも「ゆたかさ」が提供できるよう努力を積み重ねていきたいと思ひます。

運用メンバーからのメッセージ



Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長
シニア・ファンドマネジャー

3月30日にスタートした、ひふみらいとですが、お陰様でお預かりしている金額が日々増加しております。債券の運用を通じて、今まで以上に皆様のお役に立てるようがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



Okada Taisuke
岡田 泰輔
未来戦略部
シニア・ファンドマネジャー

レオスに入社して1年も経たないうちに、みなさまの期待の大きさを改めて実感する節目となる機会をいただき、大変ありがたく思っています。わたしたちのファンドを支持してくださる方々のお役に立てるように、これからもがんばっていきます。今度ともよろしくお願いいたします。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

お客様の資産を「長期の積立投資」などでお預かりし、日本や海外の成長企業に投資するスタイルや運用成果が支持を集めた結果だと感謝しています。さらに多くの支持を集められるように精進していきたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト

すべてのお客様に感謝しています。レオスのお客様は、お客様であると同時に、わたしたちの考え方に共感してくださる同志であるとも感じています。これからも仲間として、レオスのファンドと一緒に育てていただければ嬉しいです。

債券ってなに？～債券の基礎知識～【YouTube】

ひふみらいとがひふみグローバル債券マザーファンドを通じて投資している「債券」について、いまさら聞けない基礎知識を約10分で解説する動画をYouTubeの公式チャンネルにて好評配信中です。

専門用語をできるだけ使わずに、当社社員が分かりやすくお伝えしております。

ぜひご視聴いただき、債券運用への理解の一助としていただければ幸いです。



レオス・キャピタルワークス
【投資信託「ひふみ」公式】YouTubeチャンネル
登録者数2万人突破！
チャンネル登録をお願いします！

ひふみらいとの特色

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じる場合があります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

お申込メモ

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	追加型投信／内外／株式	追加型投信／海外／株式
当初設定日	2021年3月30日	2008年10月1日	2019年10月8日
信託期間	無期限		
決算日	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	解約の請求受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）		
換金代金	解約の請求受付日から起算して6営業日目から支払われます。	解約の請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金 申込受付 不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
運用管理費用 (信託報酬)	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して年率0.55%（税込）を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券（ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用））：純資産総額に対して年率0.0022%（税込） 実質的な負担※：純資産総額に対して年率0.5522%（税込）程度	信託財産の日々の純資産総額に対して年率1.078%（税込）を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して年率1.628%（税込）を乗じて得た額
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（上限年間99万円（税込））	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（上限年間88万円（税込）。）	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）を乗じて得た額。（上限年間99万円（税込）。）
その他費用・ 手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行いません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：(ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社
(ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社
(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先



レオス・キャピタルワークス株式会社
コミュニケーション・センター
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
受付時間：(2020年4月6日より)営業日の10時～16時
ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>